

11月30日は絵本の日

絵本の日の集い

日程：2026年11月28日（土）

時間：13:00～開場・受付開始

場所：国立オリンピック記念
青少年総合センター

〒530-0055 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

参加費：無料



対象：

絵本作家、絵本専門士、朗読指導者、JPIC読
書アドバイザー、司書・図書館員、書店員、
出版関係者、ほか一般の方も歓迎

定員：180名 先着順／事前申込制



本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。

 National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金



「体験の風をおこそう」運動
かわいい子には体験を！
—子どもの頃の体験は人生の基盤—
運動の詳細や各種資料等はここから→



全国の体験活動・プログラム
イベントをさがそう

体験活動情報サイト



イベント趣旨

本イベントは「絵本の日プレゼントキャンペーン」と連動し、絵本を通じた読書文化の輪をさらに広げることを目的に開催します。

12月の児童書最盛期を前に、絵本専門士・朗読指導者・読書アドバイザー・図書館員・書店員・出版関係者など、絵本に関わる皆さまが最新の知見を学び、実践事例からヒントを得てスキルアップする機会です。記念講演・活動報告・交流会を通じて、地域での読書推進の連携を強めます。

タイムテーブル

2026年11月28日（土）	
13:00～	開場・受付開始
14:00～15:30	記念講演
15:30～15:45	休憩
15:45～17:00	活動報告
17:00～18:00	交流会

【第1部】 記念講演（14:00～15:30）



講師: 村中 李衣（むらなかりえ）先生
児童文学作家・絵本作家

慶應大学医学部病院管理学教室にて読書療法の研究に着手。
小児病棟での絵本を通じたコミュニケーション、刑務所での絵本教育プログラム、受刑母と子どもの読書支援など幅広く活動。
「長期入院児のための絵本の読みあい」で第1回日本絵本研究賞受賞（2017）。
児童文化・文芸の向上と普及に貢献したとして第45回蔵谷小波文芸賞受賞（2024）。



【第2部】 活動報告（15:45～17:00）



絵本専門士 2期
朝日 仁美 氏

新潟県糸魚川市学校司書
絵本でSDGs推進協会
代表理事
和食文化継承リーダー



絵本専門士 3期
広辺 和隆 氏

埼玉県白岡市役所職員
言葉と場づくりの力で、人
と絵本を近づけ、絵本文化
が社会に根付くことを目指
し、活動中です。



絵本専門士 5期
小屋 美香 氏

育英短期大学保育学科教授
一般社団法人絵本専門士支
援協会理事
JPIC読書アドバイザー



絵本専門士 6期
岸 春江 氏

フリーアナウンサー
ファンタジアパル主宰
子どもメディアイン
ストラクター（北海道）
原田メソッド認定講師

お申し込み

右記QRコード、またはウェブサイトより
お申し込みください。

URL

<https://forms.office.com/r/bBddvhFbpY>



お問い合わせ

NPO法人 絵本文化推進協会

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピック記念青少年総合センター内

MAIL: npo_info@ehon-bunka.org

TEL: 03-5738-8411（平日10:00～17:00）

主催: NPO法人 絵本文化推進協会

本イベントは、独立行政法人国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金」助成活動として実施されます。